

氏名	星 田 義 彦
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	博 甲 第 976 号
学位授与の日付	平成 3年 3月 31日
学位授与の要件	医学研究科病理系病理学(Ⅱ)専攻 (学位規則第5条第1項該当)
学位論文題目	悪性リンパ腫におけるLFA-1分子発現の免疫組織学的検討
論文審査委員	教授 岡田 茂    教授 木村郁郎    教授 難波正義

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

悪性リンパ腫におけるLFA-1の発現を単クローン抗体を用いて免疫組織学的に、及び一部はフローサイトメトリーを用いて解析した。検索材料は、悪性リンパ腫58例、非腫瘍性反応性リンパ球増殖性疾患32例である。免疫染色での切片中のLFA-1陽性細胞の割合が10%以下をgrade 0, 10~50%をgrade 1, 50~80%をgrade 2, 80%以上をgrade 3として評価した。非腫瘍性疾患では、grade 0,1に属するものは1例もみられず、8割以上の症例がgrade 3に属していたが、悪性リンパ腫では5割以上の症例がgrade 0,1に属した。T, B 表現型別ではTリンパ腫の方に高gradeのものが多かった。このことより、悪性リンパ腫の診断の際に通常のリンパ球系マーカー以外にLFA-1抗原の有無を検索することは、腫瘍の判定の補助的手段となり得ることがわかった。また、一部の症例でフローサイトメトリーによる解析をおこなったが、免疫染色によってLFA-1分子の発現を評価するよりも詳細に且つ客観的に評価できることがわかった。

### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は悪性リンパ腫におけるLFA-1の発現を単クローン抗体を用いて免疫組織学的に、一部はフローサイトメトリーを用いて解析したものである。反応性病変ではLFA-1は8割以上の症例において80%以上の細胞に発現していたが、悪性リンパ腫では逆に5割以上の症例において50%以下の発現しか示していなかった。フローサイトメトリーによる解析では、評価が詳細にかつ客観的におこなわれることがわかった。本研究はリンパ球系悪性腫瘍の診断に重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。